

様式2

教 科	種 目	発 行 者
音 楽	一 般	教 出

調 査 項 目	意 見
1 知識・技能の習得と思考力・判断力・表現力の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・歌唱・創作・鑑賞の活動において、歌唱と鑑賞の活動を関連させる、基礎的な学習から活用の学習への発展があるなど、学年間及び学年内の系統性・発展性に配慮がされている。 ・根拠をもって音楽のよさを味わうために、感じたことを交流するなどの言語活動を取り入れた学習が明確に示されている。 ・歌唱・創作・鑑賞の活動において、我が国や諸外国の音楽のよさを幅広く体験することができるような構成や配列となっている。 ・歌唱・創作・鑑賞の能力を育成するために、3年間を貫くテーマによって繰り返し学習することや、他教科や総合的な学習の時間とのつなぎなど、発展的な学習が取り上げられている。 ・教材ごとに、「音楽を形づくっている要素」や記号等が学習のポイントとして示されている。
2 主体的な態度の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・思いや意図をもって取り組むことができるよう、創作の活動において、つくった作品を聴いて確かめる活動など具体的な学習活動の内容が示されている。 ・教材ごとに学習のポイントが示されており、この記述を手がかりに見通しをもって活動することができるよう、よく配慮されている。 ・現代の音楽家や舞台芸術家からのメッセージ、音楽を通じた教育活動の紹介など、キャリア教育の視点から見た魅力的な資料が豊富に掲載されている。
3 「地域社会人」の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・我が国や諸外国の音楽文化等について、音素材としての音楽だけではなく、歴史的な背景や舞台芸術など、総合芸術として幅広く紹介されている。また、岐阜県の伝統的な文化について、資料の一部として紹介されている。
4 印刷・造本	<ul style="list-style-type: none"> ・一部に折り込みページを採用し、複数の写真や資料を同時に活用しながら学習ができるようによく工夫されている。 ・撥水加工がされており、破損しにくい加工となっている。 ・日本と西洋の音楽史を比較できる年表に加え、時代ごとに活躍した音楽家とその代表作品の作曲された年代が一望できるなど、資料の掲載の仕方がよく工夫されている。
5 総 評	<p>歌唱・創作・鑑賞の活動において、我が国や諸外国の音楽のよさを幅広く体験することができるような構成や配列がなされ、さらに教材ごとに学習のポイントが示されている。また、学習者にとって魅力的な学習活動が展開されるように資料の掲載や内容が工夫されている。</p>